

テトテトテトテテ

校長だより 2023. 5. 19 NO. 1

創立118年目の「松江ろう学校」 ～子どもたちを主語にした学校づくり～



玄関前のロータリー

福田与志先生の胸像



1905年(明治38年)5月、福田与志先生によって目や耳の不自由な子どもたちの学校「松江私立盲啞学校」が設立されました。障がいのある子どもの未来を拓いてやりたい、社会人として自らの力で生きている実感を掴めるように教育したいという与志先生の教育理念は、盲学校、松江ろう学校、浜田ろう学校の3校に引き継がれています。今年、本校は創立118年目を迎えました。玄関前のロータリーには、創立100周年記念時に設置された与志先生の胸像があります。与志先生は、校舎の方をしっかりと見つめ、子どもたちをやさしく見守ってくださっています。

さて、5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症への移行し、3年余り続いた制約や制限も緩和され、コロナ以前の学校生活にもどりつつあります。コロナ禍は、「学校の役割」を見つめ直す機会でもありました。学校だからできる仲間と関わり(対話、協力)、課題解決などの「協働的な学び」はとても大切です。児童会、生徒会、学校行事や学部行事は、このような学びができる貴重な機会です。単にコロナ禍以前の姿に戻るのではなく、これまでの松江ろう学校の良さを継承しつつ、子どもたちの思いや考えが活かされ、子どもたちが主体的に取り組むことができるよう教育活動をアップデートしていく必要があります。

5月19日(金)の開校記念式では、「みんなが気持ちよく過ごせる学校」、「みんなが幸せを感じられる学校」を目指して、一人一人が考え、話し合ってみんなの学校をつくっていこうと話しました。私たち教職員は、子どもを主語にした学びをしっかりと支えていきたいと思ひます。